

1 調査の概要

(1) 調査の目的

この調査は、これからの町政施策を検討するうえで、広く町民のニーズを把握するとともに、町民のまちづくりに関するご意見、要望等を町の行政運営に反映させるため、平成20年、平成23年度に引き続き実施したものである。なお、「第5次川島町総合振興計画策定及び地方創生のための町民アンケート」と併せて実施したものであり、調査結果については該当する部分を抜粋し、作成したものである。

(2) 調査の概要

調査対象	町内在住の18～49歳の方 1,000人 町内在住の50歳以上の方 1,000人 計2,000人
調査期間	平成27年7月1日～平成27年7月17日
調査方法	郵送配付・回収
配付数	2,000票
回答率（回答率）	18～49歳 279票（27.9%） 50歳以上 526票（52.6%） 合計 805票（40.3%）

(3) 報告書の見方

- 「調査結果」の図表は、原則、回答者の構成比（百分率）で示している。
- 「n」は「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示している。
- 百分比による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を100%として算出し、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記している。また、複数回答の設問では、すべての比率の合計が100%を超えることがある。
- 設問の中には前問に答えた人のみが答える「限定設問」があり、表中の「回答者数」が全体より少なくなる場合がある。
- 図表の「0.0」は、四捨五入の結果または回答者が皆無であることを示している。
- 選択肢の語句が長い場合、本文中及び図表中では省略した表現を用いる場合がある。

(4) 回答者属性別クロス集計について

- 設問の内容に応じ、特徴的な傾向がみられる属性別クロス集計結果を掲載している。
- クロス集計表の場合、縦軸の「無回答」は表示していないため、合計と合致しない場合がある。
- クロス集計で母数が極端に少数の構成比(百分率)は統計的誤差が大きい可能性があり、構成比(百分率)の取扱いには注意が必要である。

(5) 自由意見について

- 調査に設けた自由意見及び選択肢に付属する自由記入欄の記述については、別冊の「その他・自由意見」報告書としてまとめている。

(自由意見のみの設問)

問 21 川島町のまちづくりや人口減少問題についてご意見・ご提案をお聞かせください。(自由記入)